

- 917例の鑑別診断と多種職で支える認知症診療を提供
- 認知症専門医療相談
- 外来窓口での個別相談（診断後支援）
- 脳-身体賦活リハビリテーション（診断後支援）

- 本人・家族ペアを対象に認知症教室（診断後支援）
- 軽度認知障害（MCI）を対象とした薬剤治験
- 地域連携の推進（あいちオレンジタウン構想）
- 若年性認知症支援

## (1) 診療実績（R4年度）

外来診療	鑑別診断 (初診)	再診数	高齢者総合 評価の実施
R4年の診療件数	917件	6,821件	1,247件

病棟診療：平均稼働率は82.6%、平均在院日数は約22.4日

## (2) 認知症の相談と本人・家族への支援

精神科病院（大府病院）との連携	73件
認知症専門医療相談（電話・面接）	686件
外来での個別の相談（看護相談）	463（264）件
本人・家族ペアを対象に認知症教室	介入群（教室参加） 60人 対照群（資料送付） 66人

家族教室の効果をRCTで実証

→Geriatr Gerontol Int (2021)で公開

Geriatric & Gerontology International Best Article Award(2022)受賞

## (3) 地域連携

- あいちオレンジタウン構想
- 認知症地域医療連携協議会
- 老健事業（認知症疾患医療センターの整備方針に関する調査研究事業）での提言
- 若年性認知症の新規支援が57件
- 愛知県：認知症疾患センター事業評価

## (4) 脳・身体賦活リハビリテーション（脳活リハ）



二重課題訓練としての運動療法

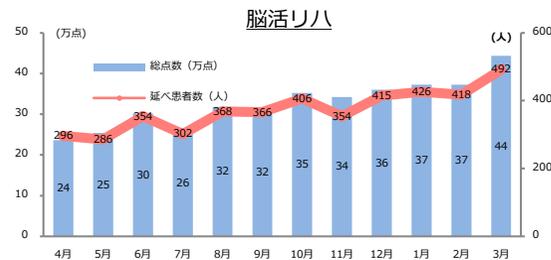


家族教室

診断後支援として、軽度認知障害と認知症の人に対し、家族支援を含む非薬物療法（包括的な脳活リハ）を実施した。

新規患者数66人、延べ4,483人に対しリハを提供した。3段階の重症度でグループ分けし1日3回、合計15クラス/週実施した。

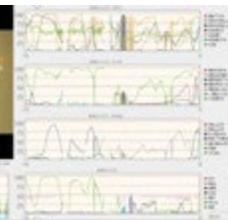
また、リハビリを通じて職員として就労するまで回復した認知症の人も見られた。



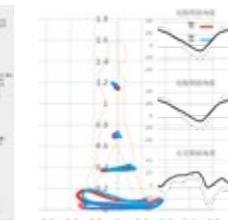
## (5) 軽度認知障害、認知症に関する調査・研究活動



表情分析



動作分析



作業能力評価指標の開発

認知症の人の歩行や表情の分析、作業能力評価指標の開発研究を行った。

# 非薬物療法の新たな挑戦：『認知症の人と家族』×『非専門職』×『レクリエーション』

－国立長寿医療研究センター・立命館大学・吉本興業－



## 軽度認知障害または認知症の人と家族ペアに対する レクリエーションアプローチによる 心理社会的支援プログラム開発研究

**目的** 軽度認知障害または認知症の人とその家族を対象とした  
以下の特徴を有した心理社会的介入プログラムの効果検証

- 特徴1** 軽度認知障害および認知症の人と家族の同時参加型
- 特徴2** グループ型
- 特徴3** 理論とニーズに基づいたマルチコンポーネント型プログラム
  - ・回想法
  - ・ストレスマネジメント理論
  - ・レクリエーションアプローチ（音楽・漫才）

**特徴4** 非専門職によるリード

### プログラム概要

1回=120分、隔週開催、3ヶ月完結型

Session	テーマ	ナビゲーター	合同セッション 80分	分離セッション40分	
				ご本人	ご家族
1	音楽を通じて生活上の悩みを手放そう	学生 or 事務補助員	1:笑いの効果 2:音投げエクササイズ 3:懐メロと思い出語り	継続実施	1:日々の困りごとを話してみよう
2			1:懐メロと思い出語り 2:音投げエクササイズ 3:みんなで懐メロ演奏	継続実施	2:関わり方の演習
3			1:みんなで懐メロ演奏 2:音投げエクササイズ 3:笑いヨガ	継続実施	3:本人sessionを見学してみよう
4	漫才を通じて生活上の悩みを手放そう	漫才師	1:漫才鑑賞 2:漫才シナリオワーク①	漫才師とワーク (体操・しりとり)	1:日々の困りごとを話してみよう
5			1:漫才シナリオワーク② 2:漫才師とお話しよう！	漫才師とワーク (ゲーム・体操)	2:本人sessionの見学結果と気づき
6			1:漫才発表会準備 2:漫才発表会 3:漫才ワークの思い出語り	漫才師とワーク (体操・ゲーム・トーク)	3:ストレスとのつきあい方演習



© YOSHIMOTO KOGYO CO., LTD.



© YOSHIMOTO KOGYO CO., LTD.

### ▲芸人さんと一緒に漫才の台本づくり

Q:卒業式にもらうもの・・・がネタなんですか？  
A: そうそう  
Q: 何もらった？  
A: そやね・・・櫛、花、ボタン・・・あと何やる？  
Q: 櫛？  
A: 昔はね、櫛ってね・・・（思い出語り）  
Q: そうか・・・  
そもそも「牡丹の花なんて、何月の話なん？」  
「ちがうやん・・・第2ボタンやって」

こんな感じで、芸人さんと参加者たちが昔の思い出語りなどをして会話を楽しみながら漫才の台本を一緒に作成していきます。

### ゴール

【軽度認知障害、認知症の方】

認知機能の改善

【ご家族】

抑うつ改善

【共通】

QOLの改善